

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年11月6日(2008.11.6)

【公開番号】特開2007-283144(P2007-283144A)

【公開日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-042

【出願番号】特願2007-205599(P2007-205599)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種類の識別情報を更新表示することが可能であって前記識別情報の更新表示の表示結果を導出表示する可変表示装置を備え、前記識別情報の更新表示の表示結果が予め定められた特定の表示態様となったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御可能となる遊技機であって、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

前記可変表示装置を表示制御し、前記識別情報の更新表示および画像による演出を行なう演出表示制御手段とを備え、

前記遊技制御手段は、

前記識別情報の更新表示の表示結果を前記特定の表示態様にするか否かを決定するための数値を更新する第 1 の数値更新手段と、

前記特定の表示態様が前記特定遊技状態に制御される確率が向上される確率変動状態になることを示す確変表示態様となるか否かを決定するための数値を更新する第 2 の数値更新手段と、

前記識別情報の変動時間を決定するための数値を更新する第 3 の数値更新手段とを含み、

前記遊技制御手段は、

前記第 1 数値更新手段、前記第 2 の数値更新手段、および前記第 3 の数値更新手段で更新される各々の数値を抽出し、

前記第 1 の数値更新手段から抽出した数値に基づいて前記識別情報の更新表示の表示結果を前記特定の表示態様にするか否かを決定し、前記特定の表示態様にするときには該特定の表示態様を前記第 2 の数値更新手段から抽出した数値に基づいて前記確変表示態様にするか否かを決定した後、前記第 3 の数値更新手段から抽出した数値および前記識別情報の更新表示の表示結果を前記特定の表示態様にするか否かの決定に基づいて前記識別情報の変動時間を決定し、

前記演出表示制御手段が前記可変表示装置の表示制御を行なうための表示制御コマンドとして、前記識別情報の変動時間を示す変動時間コマンドと、前記識別情報の更新表示の表示結果が、前記確変表示態様となること、前記特定の表示態様であるが前記確変表示態様とならないこと、前記特定の表示態様とならないことのいずれかを示す表示態様コマ

ンドとを前記識別情報の更新表示を開始するときに前記演出表示制御手段に送信するとともに、

前記変動時間コマンドにより前記演出表示制御手段に通知した前記識別情報の変動時間が経過したときに、前記識別情報の更新表示の表示結果を導出表示する確定時期であることを示す確定時期コマンドを、前記変動時間コマンドとは別に前記演出表示制御手段に送信し、

前記遊技制御手段と前記演出表示制御手段との間では、前記遊技制御手段から前記演出表示制御手段への一方にのみ情報を伝送可能であり、

前記演出表示制御手段は、

前記識別情報の更新表示の表示結果を決定するための数値を更新する第４の数値更新手段と、

受信した前記表示制御コマンドの示す内容および前記第４の数値更新手段から抽出した数値に基づいて前記識別情報の更新表示の表示結果を決定する識別情報決定手段と、

受信した前記表示制御コマンドの示す内容に基づいて、前記可変表示装置の表示結果が所定の表示態様になることを予告する予告表示を行なうか否かを決定する予告実行決定手段とを含み、

前記演出表示制御手段は、

受信した前記変動時間コマンドにより示された変動時間および前記予告実行決定手段の決定に従って、前記識別情報を更新表示するとともに、前記予告表示のうち、第１の予告表示として前記可変表示装置に複数種類の画像のうち第１の画像を表示し、第２の予告表示として前記可変表示装置に前記第１の画像を表示させたのち前記複数種類の画像のうち第２の画像を表示する表示制御を行ない、

前記確定時期コマンドを受信したときに、前記識別情報決定手段により決定された前記識別情報の更新表示の表示結果を前記可変表示装置に表示させることを特徴とする、遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

請求項１に記載の本発明は、複数種類の識別情報を更新表示することが可能であって前記識別情報の更新表示の表示結果を導出表示する可変表示装置を備え、前記識別情報の更新表示の表示結果が予め定められた特定の表示態様となったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御可能となる遊技機であって、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

前記可変表示装置を表示制御し、前記識別情報の更新表示および画像による演出を行なう演出表示制御手段とを備え、

前記遊技制御手段は、

前記識別情報の更新表示の表示結果を前記特定の表示態様にするか否かを決定するための数値を更新する第１の数値更新手段と、

前記特定の表示態様が前記特定遊技状態に制御される確率が向上される確率変動状態になることを示す確変表示態様となるか否かを決定するための数値を更新する第２の数値更新手段と、

前記識別情報の変動時間を決定するための数値を更新する第３の数値更新手段とを含み、

前記遊技制御手段は、

前記第１数値更新手段、前記第２の数値更新手段、および前記第３の数値更新手段で更新される各々の数値を抽出し、

前記第１の数値更新手段から抽出した数値に基づいて前記識別情報の更新表示の表示

結果を前記特定の表示態様にするか否かを決定し、前記特定の表示態様にするときには該特定の表示態様を前記第2の数値更新手段から抽出した数値に基づいて前記確変表示態様にするか否かを決定した後、前記第3の数値更新手段から抽出した数値および前記識別情報の更新表示の表示結果を前記特定の表示態様にするか否かの決定に基づいて前記識別情報の変動時間を決定し、

前記演出表示制御手段が前記可変表示装置の表示制御を行なうための表示制御コマンドとして、前記識別情報の変動時間を示す変動時間コマンドと、前記識別情報の更新表示の表示結果が、前記確変表示態様となること、前記特定の表示態様であるが前記確変表示態様とならないこと、前記特定の表示態様とならないことのいずれかを示す表示態様コマンドとを前記識別情報の更新表示を開始するときに前記演出表示制御手段に送信するとともに、

前記変動時間コマンドにより前記演出表示制御手段に通知した前記識別情報の変動時間が経過したときに、前記識別情報の更新表示の表示結果を導出表示する確定時期であることを示す確定時期コマンドを、前記変動時間コマンドとは別に前記演出表示制御手段に送信し、

前記遊技制御手段と前記演出表示制御手段との間では、前記遊技制御手段から前記演出表示制御手段への一方向にのみ情報を伝送可能であり、

前記演出表示制御手段は、

前記識別情報の更新表示の表示結果を決定するための数値を更新する第4の数値更新手段と、

受信した前記表示制御コマンドの示す内容および前記第4の数値更新手段から抽出した数値に基づいて前記識別情報の更新表示の表示結果を決定する識別情報決定手段と、

受信した前記表示制御コマンドの示す内容に基づいて、前記可変表示装置の表示結果が所定の表示態様になることを予告する予告表示を行なうか否かを決定する予告実行決定手段とを含み、

前記演出表示制御手段は、

受信した前記変動時間コマンドにより示された変動時間および前記予告実行決定手段の決定に従って、前記識別情報を更新表示するとともに、前記予告表示のうち、第1の予告表示として前記可変表示装置に複数種類の画像のうち第1の画像を表示し、第2の予告表示として前記可変表示装置に前記第1の画像を表示させたのち前記複数種類の画像のうち第2の画像を表示する表示制御を行ない、

前記確定時期コマンドを受信したときに、前記識別情報決定手段により決定された前記識別情報の更新表示の表示結果を前記可変表示装置に表示させることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 6】

請求項 1 に関しては、次のような効果を得ることができる。演出表示制御手段において、予告実行決定手段により、遊技制御手段から受信した表示制御コマンドに応じて、可変表示装置の表示結果が所定の表示態様になることを予告する予告表示を行なうか否かが決定されて、第 1 の予告表示として第 1 の画像が表示され、第 2 の予告表示として第 1 の画像を表示させたのち第 2 の画像が表示される。このため、遊技制御手段側では、演出表示制御手段で行なう予告表示に関する制御を行なわなくてよいので、遊技制御手段における表示制御に関する処理負担を軽減することができる。また、演出表示制御手段においては、識別情報決定手段により、識別情報の更新表示の表示結果が決定される。このため、遊技制御手段側では、識別情報の更新表示の表示結果の決定を行なわない。そして、遊技制御手段における表示制御に関する処理負担を軽減できる結果として、遊技制御手段が本来の遊技制御にかけられる時間を増やすことが可能となる遊技機を提供することができる。

また、確定時期コマンドを受信したときに演出表示制御手段によって、識別情報決定手段により決定された識別情報の更新表示の表示結果が可変表示装置に表示される。したがって、可変表示装置における識別情報の更新表示の表示結果を、遊技制御手段が管理するタイミングで確実に確定させることができる。さらに、遊技制御手段と演出表示制御手段

との間では、遊技制御手段から演出表示制御手段への一方向にのみ情報が伝送可能であるため、演出表示制御基板手段から遊技制御手段に不正な信号が入力されて不正な制御動作が行なわれことを防ぐことができる。

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 6

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 3 6 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 3 6 7】

図 1 等 に示されたパチンコ遊技機 1 により、複数種類の識別情報（図柄）を更新表示（可変表示）することが可能であって前記識別情報の更新表示の表示結果を導出表示する可変表示装置（可変表示装置 8、さらに具体的には、可変表示部 9）を備え、前記識別情報の更新表示の表示結果が予め定められた特定の表示態様となったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御可能となる遊技機が構成されている。図 4 等 に示された遊技制御基板 3 1 により、遊技の進行を制御する遊技制御手段が構成されている。図 4 に示された表示制御基板 8 0 により、前記可変表示装置を表示制御し、前記識別情報の更新表示および画像による演出を行なう演出表示制御手段が構成されている。図 5 4 に示された R 1 により、前記遊技制御手段に含まれ、前記識別情報の更新表示の表示結果を前記特定の表示態様にするか否かを決定するための数値を更新する第 1 の数値更新手段が構成されている。図 5 4 に示された R 6 により、前記遊技制御手段に含まれ、前記特定の表示態様が前記特定遊技状態に制御される確率が向上される確率変動状態になることを示す確変表示態様となるか否かを決定するための数値を更新する第 2 の数値更新手段が構成されている。図 5 4 に示された R 5 により、前記遊技制御手段に含まれ、前記識別情報の変動時間を決定するための数値を更新する第 3 の数値更新手段が構成されている。図 1 1 の S 4 4、および図 5 6 の S 5 1 ~ S 6 3 に示されるように、前記遊技制御手段は、前記第 1 数値更新手段、前記第 2 の数値更新手段、および前記第 3 の数値更新手段で更新される各々の数値を抽出し、前記第 1 の数値更新手段から抽出した数値に基づいて前記識別情報の更新表示の表示結果を前記特定の表示態様にするか否かを決定し、前記特定の表示態様にするときには該特定の表示態様を前記第 2 の数値更新手段から抽出した数値に基づいて前記確変表示態様にするか否かを決定した後、前記第 3 の数値更新手段から抽出した数値および前記識別情報の更新表示の表示結果を前記特定の表示態様にするか否かの決定に基づいて前記識別情報の変動時間を決定する。図 6 0 等 に示されるように、前記遊技制御手段は、前記演出表示制御手段が前記可変表示装置の表示制御を行なうための表示制御コマンドとして、前記識別情報の変動時間を示す変動時間コマンドと、前記識別情報の更新表示の表示結果が、前記確変表示態様となること、前記特定の表示態様であるが前記確変表示態様とならないこと、前記特定の表示態様とならないことのいずれかを示す表示態様コマンドとを前記識別情報の更新表示を開始するときに前記演出表示制御手段に送信可能であるとともに、前記変動時間コマンドにより前記演出表示制御手段に通知した前記識別情報の変動時間が経過したときに、前記識別情報の更新表示の表示結果を導出表示する確定時期であることを示す確定時期コマンドを、前記変動時間コマンドとは別に前記演出表示制御手段に送信可能である。図 5 に示された入力バッファ回路 1 0 5 により、前記遊技制御手段と前記演出表示制御手段との間では、前記遊技制御手段から前記演出表示制御手段への一方方向にのみ情報を伝送可能である。

図 6 1 に示された R S 4 ~ R S 8 により、前記演出表示制御手段に含まれ、前記識別情報の更新表示の表示結果を決定するための数値を更新する第 4 の数値更新手段が構成され

ている。図 6 3 により、前記演出表示制御手段に含まれ、受信した前記表示制御コマンドの示す内容および前記第 4 の数値更新手段から抽出した数値に基づいて前記識別情報の更新表示の表示結果を決定する識別情報決定手段が構成されている。図 4 2 に示されたリーチ予告決定処理、図 4 4 に示された大当り予告決定処理等により、前記演出表示制御手段に含まれ、受信した前記表示制御コマンドの示す内容に基づいて、前記可変表示装置の表示結果が所定の表示態様になることを予告する予告表示を行なうか否かを決定する予告実行決定手段が構成されている。図 3 9 の S 7 2 0、S 7 5 0、S 7 8 0、S 8 1 0、S 8 4 0、S 8 7 0、および図 1 6、図 1 7 の大当り予告 2 等に示されるように、前記演出表示制御手段は、受信した前記変動時間コマンドにより示された変動時間および前記予告実行決定手段の決定に従って、前記識別情報を更新表示するとともに、前記予告表示のうち、第 1 の予告表示として前記可変表示装置に複数種類の画像のうち第 1 の画像を表示し、第 2 の予告表示として前記可変表示装置に前記第 1 の画像を表示させたのち前記複数種類の画像のうち第 2 の画像を表示する表示制御を行なう。図 4 8 に示されるように、前記演出表示制御手段は、前記確定時期コマンドを受信したときに、前記識別情報決定手段により決定された前記識別情報の更新表示の表示結果を前記可変表示装置に表示させる。

【手続補正 2 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 3 6 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 3 6 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 3 7 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 3 7 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 3 7 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 3 7 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 3 7 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 3 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 3 7 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 3 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 3 7 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 3 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 3 7 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 3 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 3 7 8

【補正方法】削除

【補正の内容】